

第五十六回 兵庫県立宝塚高等学校 入学式 式辞

春の日差しが天地に満ち満ち、ふくよかな風の香りを感ずるこの良き日に、兵庫県議会議員 森脇保仁様はじめ、ご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに兵庫県立宝塚高等学校 第五十六回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百四十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを、本校の五十六回生として迎えらるることを、在校生、教職員一同、本当に嬉しく思います。

そして、これまで、新入生の皆さんを支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝いを申しあげます。

今、皆さんは、入学の喜びと、これから始まる高校生活への期待に大きく胸を膨らませていることでしょう。皆さんが、今日こうして本校の五十六回生として入学することができた背景には、ご両親をはじめ、ご家族の方々、小・中学校の先生方、また、皆さんを守り育ててくださった数多くの人たちのご協力とご支援、そしてご指導があったからこそであります。このことは決して忘れてはなりません。

高校生になるということは、物事を自分で判断し、自ら行動できるようになるということでもあります。これから三年間の高校生活を通して、様々な知識や教養、豊かな人間性を養い、健全な心と体を備えた人間として 自らを鍛えあげていくことが必要です。こうすることが、これまでお世話になった方々のご恩に報いる方法であります。

さて、本校の教育は、昭和三十八年の創立以来、半世紀以上の長きにわたり、すばらしい教職員とすばらしい生徒諸君の切磋琢磨と保護者や地域の方々のご支援とご協力のもとに、営々と営まれてきました。その基盤となっているのが校訓の「剛健中正、誠意正心、明朗闊達」であります。

「剛健中正」とは、身も心も健やかであれ。

「誠意正心」は、正しい心で何事にも一生懸命であれ。

そして、「明朗闊達」は、何事にも前向きで明るく活発であれ。ということを意味しています。

この校訓のもと、本校は創立以来、全日制普通科高校として、北摂地域の伝統校としてその名を連ねて参りました。

しかし、時代は変化し続けています。例えば、現在の小学校六年生が、高校に入学するときから新しい学習指導要領に代わります。これには、主体的で対話的な深い学びを推進し、将来の進路を見据えたキャリア教育を強く推進していくことがねらいと言われています。

また、本年度の入学生は三年後の大学入試から、大学入学共通テストが改めて始まります。国語と数学に記述式問題が入り、英語は「読む」「書く」「聞く」「話す」の四つの技能を総合的に評価される時代が来ます。これらに対応すべく、本校においても、新たな取り組みをしなければなりません。ヒューマンサイエンス類型の学校設定科目などにおけるユニークな取り組みや、全ての生徒を対象とした人材育成プログラムの設定など、まだまだ磨きをかけていきたいところではありますが、着実に進化し続けております。

緑豊かで、のどかなこの山間で、身も心も健やかに成長し、学び続けることができることが、本校の強みであるといっても過言ではありません。皆さんの先輩たちは、ここで多くのことを学び、立派に卒業され、社会で大活躍されています。

皆さんは、今日、この時から、県立宝塚高等学校で三年間かけて校訓の精神を培ってほしいと思います。今日、この記念すべき日に、皆さんは、同じスタートラインに立ちました。気持ちを新たに、今述べたことを常に心がけ、意識して取り組んでほしいと思っています。

保護者の皆様に対しましては、心から、お子様のご入学のお祝いを申し上げます。本日 確かに、お子様をお預かりいたしました。三年後の卒業時には、県立宝塚高等学校に入学させて良かったと喜んでいただけるよう、私ども教職員一同、真剣勝負をするつもりであります。保護者の皆様も、本校の教育活動の推進に ご理解とご協力、そして、ご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

二百四十名の新入生の皆さんの、今後の益々の
成長・発展を心から祈念し、式辞といたします。

平成三十年四月九日

兵庫県立宝塚高等学校長 中西 朗